

学習した日

○月

○日

○曜日

○時

めあて：「春」について書かれた文章や俳句、春に関わる言葉から、「春」のイメージを深めよう。

① 今日のめあてを確認しましょう。

② あなたが、「春らしいなあ。」「春のこんなところが好きだな。」と思うのは、どんなとき、どんなところですか。書いてみましょう。

(例)

- ・校門の前の桜の木が咲き始めると、「春が来たんだな。」と感じる。
- ・進級して、新しい教室になり、新しい担任の先生がわかったときに、春になってまた新しい一年が始まるなどという気持ちになる。
- ・夕ご飯に、たけのこご飯を食べたときに、春に食べるとおいしいと感じた。

③ 教科書三十六ページをあげましょう。

清少納言は、「枕草子」の初めに四つの季節について自分の思いをつづっています。そのうちの「春」の部分が教科書に掲載されています。

作者は、春のどんなどころがよいと感じているでしょうか。考えながら、声に出して読んでみましょう。

④ 「枕草子」を読んで、「いいな。」「自分とは少し違うな」と思うことなど、感じたことを書きましょう。

(例)

- ・春の明け方の空は教科書のように本当に紫色に見えるのか、実際に見て確かめてみたい。
- ・清少納言は、春は明け方がよいと言っているが、私は昼間の暖かさのうがよいと思う。

⑤ 教科書三十七ページの俳句や春の言葉を声に出して読んでみましょう。言葉の響きやリズムに気を付けて読めるといいですね。

⑥ 教科書三十七ページの写真を見て、思い浮かぶことはありますか。また、春について思い出し

(例)

- ・去年、家族でお花見に行ったときに、それまで暖かかったのに急に寒くなったので、早めに帰ったことがある。

学習した日

〇月

〇日

〇曜日

〇時

めあて…春を表す言葉や写真を参考にしながら、自分が感じる「春」を書き表そう。

① 今日のめあてを確認しましょう。

② 教科書三十六ページの「枕草子」や、三十七ページの俳句、春の言葉を、もう一度、声に出して読みましょう。ワークシート①も読み返しましょう。

③ ワークシート①で思い浮かべた「春」のことや、教科書にある言葉や写真を参考に、自分が「春」を感じたときに見たものや感じたことを書いてみましょう。

※「春はあけぼの」の書き方をまねるのも、いいですね。  
※俳句で表現する方法もあります。

★ 学校が始まったら、クラスの友達と、書いた内容の交流会をしましょう。声を出して読む練習もしておくといいですね。



